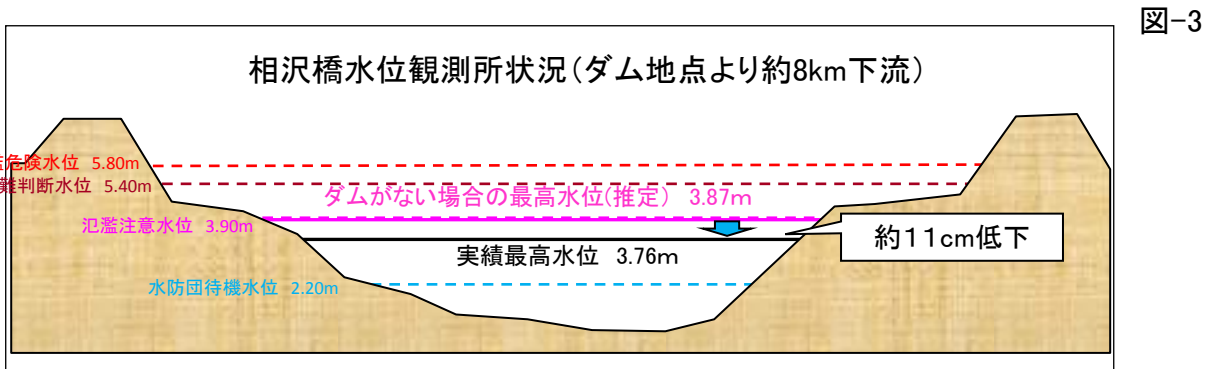
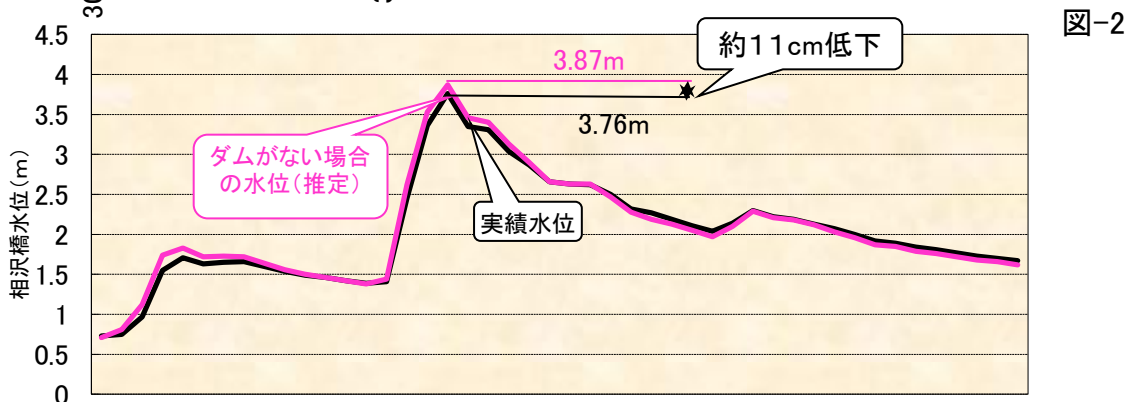
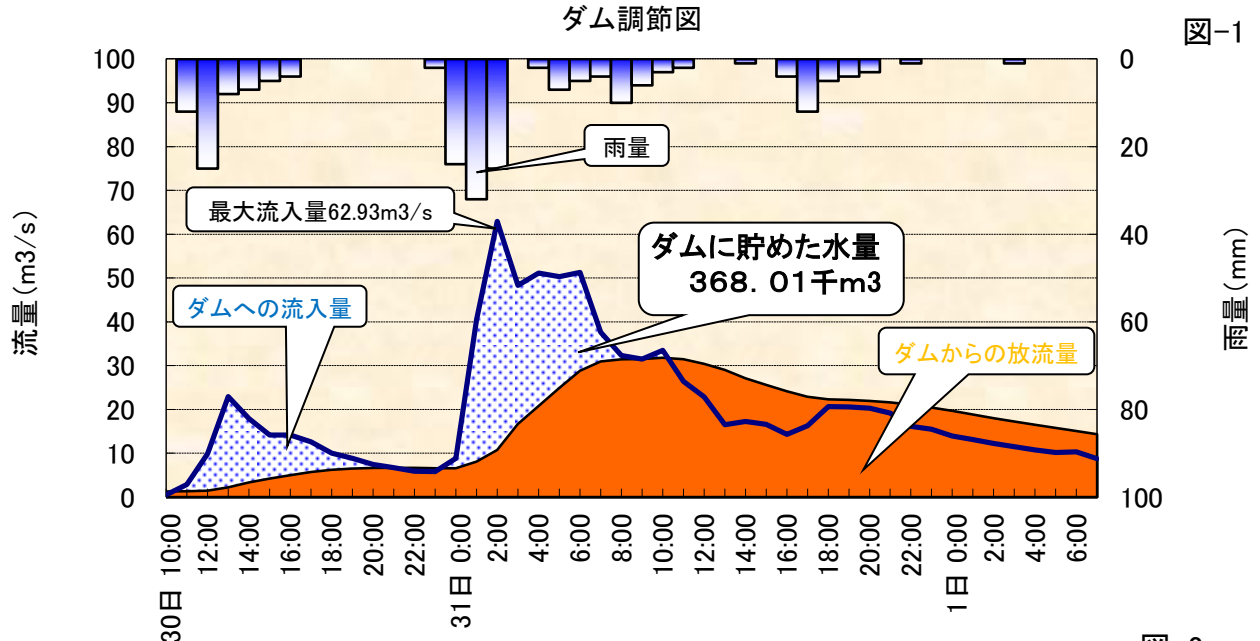


平成30年8月30日～9月1日の豪雨における
 田沢川ダム（最上川水系田沢川）の洪水調節効果について

庄内地方では、8月30日昼から9月1日朝方にかけて、西より湿った風が流れ込み局地的な大雨が発生しました。

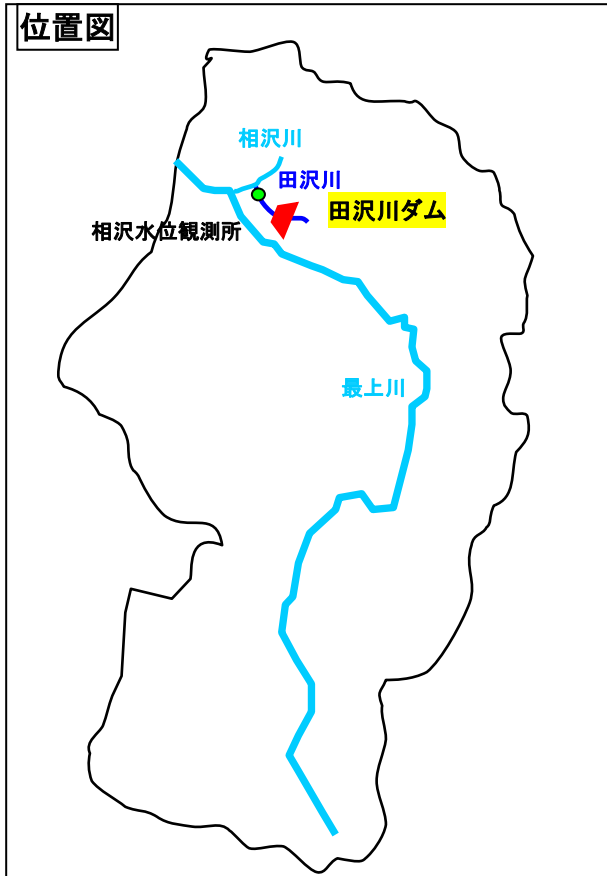
田沢川ダムでは、降り始めからの総雨量が214mmを記録し、また、ダムへの最大流入量はダム管理開始後で歴代9位の記録となる62.93m³/sとなりました。（図-1）

この出水により、田沢川ダムでは調節を行い、ダム地点において最大52.18m³/sの流量をダムに貯留し、ダムがない場合に比べ相沢橋水位観測所（酒田市田沢地内）において約11cm水位を下げ、水位の上昇を抑制する効果が見られました。（図-2、図-3）



問い合わせ先
 県土整備部河川課ダム担当
 TEL 023-630-2616

平成30年8月30日～9月1日の豪雨における
田沢川ダム（最上川水系田沢川）の洪水調節効果について（参考資料）



田沢川ダム諸元表

水系名・河川名	最上川水系田沢川	
位置	山形県酒田市山元	
目的	洪水調節、上水道、不特定	
型式	重力式コンクリート	
堤高	m	81.0
堤頂長	m	185.0
堤体積	m ³	217,000
流域面積	km ²	23.2
湛水面積	km ²	0.35
総貯水容量	千m ³	9,100
有効貯水容量	千m ³	7,900
堆砂容量	千m ³	1,200
洪水調節容量	千m ³	3,100



平成30年8月31日 13時00分頃
ダム下流約1km 築場橋付近



平成30年8月31日 13時00分頃
ダム下流約8km 相沢水位観測所付近